



## 水痘(水ぼうそう)とは？

水痘ウイルスで起こる水膨れの発疹ができる病気です。  
発疹から直接または咳などからも感染します。感染後2～3週間で発病します。  
感染力は非常に強く、生まれたばかりの赤ちゃんでもかかる可能性があります。

**症状** 発疹(蚊に刺された様な赤いポツポツで、とびひに似た発疹)は、胸・お腹・背中・頭皮、時には口の中・眼粘膜・陰部などにもできることがあります、かゆみを伴い、微熱程度の発熱やまれに高熱も出ます。

**経過** 発疹は、赤い斑点から米粒大、小豆大の水痘になり、やがて黒っぽいかさぶたに変わり、全部がかさぶたになるまで1～2週間かかります。

**治療** ウイルス性の病気なので、症状にあわせた治療が中心となります。症状の重い場合は抗ウイルス薬を、細菌感染の疑われる場合は、抗生剤を内服します。塗り薬には、かゆみを抑えると同時に破れた水痘を早く乾燥させる作用があります。

**生活** 口内炎ができている場合は、痛くて食欲がおちてしまうことがあるので、のどごしのいいものを与えましょう。食欲がない時は、水分だけでもかまいません。入浴は、水痘が全身にできている時は控え、発疹が全てかさぶたになったら入りましょう。ただ、外陰部はシャワーか座浴で洗ってあげましょう。発疹が全部かさぶたになったら、他の人にはうつりません。

**予防接種** 1歳を過ぎれば自己負担で受けられますが、抗体がつきにくい場合もあります。次の予防接種は、水痘が治って4週間以上たってから受けましょう。

### 注意

水痘に限らず、疑わしい発疹や、人にうつる病気が考えられる時は当院に来院したらすぐに、受付や看護師に申し出てください。